

【知識及び技能】音楽の様々な要素について理解し、組み合わせて、意図に応じた適切な表現をできるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】目的をもって、諸要素を組み合わせ、表現に向かう行動を自ら立てることができるようになる。それらをパフォーマンス

【学びに向かう力、人間性等】音楽を学ぶ仲間を尊重し、学びをシェアし、高めあうことで、より良い表現を目指す力を持つことができる。達成することを分かち合い、喜び合える人間性を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な音楽の諸要素について学び、かつ多様な文化の特徴に絡めて理解する。また、表現に際しての技能を得て、実際に演奏表現を行う。ソフトを通じて作曲し、実際に発信できる技能をもつ	他者と協働して、音楽を表現するなどの目的をもち、目論見を立てて行動する力を養う。表現が適切で、目的にならなかったものであるかの判断を自分たちで行い、批評しあうことができるようになる。	他者と関わりながら、学びを分かち合い、目的に沿った行動を適切にとることができるようになる。自らの表現も他者の表現も適切に評価し、尊重することができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創							
1 学 期	A 単元 実技・歌唱 【知識及び技能】 楽曲にあった適切な発声 【思考力、判断力、表現力等】 曲をよりよく表現するのにどのような歌唱法が適切か考えさせる 【学びに向かう力、人間性等】 パートで協力して学びあい、一つの合唱曲を作り上げる。	・発声の基礎 ・合唱曲、教科書掲載のポップスなどを取り上げ、表現するのに適切な声とは何かを例曲を示しながら実技を通して指導。	○			○	発声などの練習課題を通して、熱心に、しっかりと技術を体得しようとしているか見取る。グループ活動の中では協力しあって楽曲を習得しようとしているかを見取って評価する。全体で合わせたときに楽しさや面白さを味わい、豊かな響きを感じ取っているかを感じ取って評価する。	○		○	8	
	B 単元 実技・器楽 【知識及び技能】 五線譜を理解する。キーボードの奏法を知り、楽譜を演奏できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 五線譜に書いてあることを実技で演奏することを目論見立てて練習するよう考えさせる 【学びに向かう力、人間性等】 うまくできないことを他者に確認するなど、問題解決するために協力しあうよう指導する	・五線譜、音の高さ、リズム、拍子など、楽典の基礎 ・両手で弾く技術 ・初見演奏、聴音				○	キーボード奏法を熱心に学び、楽譜を理解した上で、目論見を立てて練習に取り組んでいるかを評価する。 一つの曲を集中して弾き通し、より良い演奏になるよう、自ら工夫しているかを演奏から評価する。	○	○		8	
	C 単元 鑑賞 (鍵盤楽器) 【知識及び技能】 鍵盤楽器の歴史、奏法を知る 【思考力、判断力、表現力等】 鍵盤楽器を通して生み出されてきた音楽を聞いて、どのような表現であるか、適切に批評するよう指導する 【学びに向かう力、人間性等】 関心をもって音楽を聞き、その良さを味わうことができるよう指導する	・鍵盤楽器の歴史とその成立を知る。現代では幅広く多くのジャンルで用いられる楽器であることをジャズ、ポップス、音楽ソフトなどを通して、考えを深める。					○	鍵盤楽器の多様な音楽を聴き、実技習得で得た知識を「どのようにこの音楽に使っているか、何が音楽的に面白いのか」を具体的に考え、文章にしているかを評価する。	○			8
	D 単元 実技・鑑賞 (民族音楽) 【知識及び技能】 世界の民族音楽にはどのようなものがあるか、鑑賞を通じて学習する 【思考力、判断力、表現力等】 どのように音楽が成立するのか、リズム楽器の実技で習得し、音楽的な特徴を考えさせる 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の活動を通じて人と音楽を合わせる楽しみや、協力して一つの音楽を作る学びを楽しむよう指導する	・民族音楽を鑑賞し、歴史や文化的背景を学ぶ。 ・音楽の諸要素を学び、リズム楽器等で表現する。楽器の奏法やリズムの特徴から、民族固有のあり方や要素を学ぶ。				○	○	○	○	○	○	6

